

## 参考資料

### 夏の水都大阪ウィーク「涼み舟2022」連携事業 新作能「水の輪」～Noh for SDGs～

「水の輪」は、水之都・大阪で生まれた新しい能の作品です。

山本能楽堂は、水の浄化をテーマに、環境問題について子ども達と一緒に考え、能の力で水の環境保全を目指し、「Noh for SDGs」として「海の豊かさを守る」ために活動を続けています。

「水の輪」は、平成21年に、官民一体となって52日間開催された「水都大阪2009」の最終日を彩るイベントとして、当時新しく整備された天満橋・八軒家浜で制作・初演されました。以来、中央公会堂、中之島GATE、大阪城など水にまつわる大阪の都市空間や、淀川の源流の近江八幡、八幡堀、小豆島、屋久島、隠岐の島、岩手県・大船渡市、そしてブルガリアなど世界各地で「水を大切にすゝる気持ち」を伝えてきました。大阪の子ども達と、そして、日本各地の子ども達、さらに外国の子ども達と一緒に水環境について考えてきました。

今回は、平成21年の「水都大阪2009」の初演以来、13年ぶりに八軒家浜で、子ども達と一緒に上演させていただきます。一般公募の子ども達は、美術家・井上信太氏のワークショップにより、衣装や小道具を手づくりして出演しますが、「プラごみ集めて船を走らせよう！」の事業と連動し、ペットボトルのプラスチックキャップを使用し、プラごみ問題の啓発にもつなげていければと思っています。新作能「水の輪」を上演することで、水之都・大阪の川から世界に向けて、「水を大切にすゝる気持ち」を子ども達と一緒に発信できればと願っています。

#### (事業内容ならびにスケジュール)

##### 1. 小学生を対象とした能のワークショップと衣装・小道具づくり

日時：8月16日(火)～19日(金) 10:00～12:00 (予定)

場所：川の駅はちけんや または 山本能楽堂

\*小学生は一般公募で募集/15名程度募集予定(7月末まで)



##### 2. プラスチックキャップを使用した鳥の巣箱作り

プラスチックキャップを使用した鳥の巣箱をワークショップで作り、八軒家浜周辺の店舗等に設置し、海洋プラスチックごみ問題について喚起します。

日時：8月16日(火)～19日(金) 13:00～15:00 (予定)

場所：川の駅はちけんや または 山本能楽堂

募集人数：15名



### 3. 新作能「水の輪」～Noh for SDGs

日時：8月20日（土）18：00～18：45

※雨天順延8月21日（日）

会場：川の駅はちけんや横灯籠前特設ステージ

（出演者）

掉さす女（前シテ）：山本章弘

水の精（後シテ）：山本章弘

龍神：山本麗晃

都に住む人：福王知登

水鳥（アイ狂言）：小笠原 由祠

水鳥の子ども達イメージ

笛：齊藤 敦 小鼓：林 大和 大鼓：守家 由訓 太鼓：井上 敬介

後見：梅若猶義

地謡：杉浦豊彦 吉井基晴 井戸良祐 笠田祐樹 吉井紹智

働き：前田和子

（新作能「水の輪」あらすじ）

むかしむかし、京都を都、大阪を難波とよんでいたころのお話です。都に住む男の人が、難波に向けて出発します。途中、山崎のあたりまで来ると、淀川に一隻の女の人がこぐ川舟があらわれます。男の人は自分が難波をめざしていることを告げ、乗せてもらうことにします。そして、女の人にはむかしの淀川のうつくしい様子をかたりますが、難波の近くまで来ると様子がみるみる変わり、よごれてしまった水をなげき、このような水辺にはいることができなくなったと言って、姿を消してしまいます。

男の人がひとりでただずんでいると、そこに一羽の水鳥が飛んで来て、今のできごとを水鳥に話します。水鳥はその女の人には水の精で、昔は水の精が淀川に住んでいたが、やがて水が汚れ、姿を消してしまったことを語り、もう一度水の精に帰ってきてもらうために、仲間を集め掃除をはじめます。（水鳥たちの舞）

やがて、きれいになった川に龍神があらわれ、きれいな流れの道を作り、波をしずめて待っていると、水の神もあらわれて、みんなの力で水がきれいによみがえったことを喜びます。最後はみんな水へのありがたさと難波の繁栄を祝うのでした。



舞台イメージ



新作能「水の輪」@グランキューブ大阪 2022

この件に関する問合せ先：山本能楽堂 山本佳誌枝 TEL：06-6943-9454